

墨東五区大会 2 日目
江東区対足立区(男子)

初日 2 勝の足立区。

2 日目の初戦、対江東区戦に勝って全勝で最終戦をむかえたい。

試合は高さで優位にたつ足立区が厳しいディフェンスで終始ゲームを支配し大差で勝利した。

第 1 ピリオド

足立区は#5、#9、#12、#19、#20 でスタート。

お互いシュートチャンスはあるがなかなかシュートが決まらず 0 から得点が動かず 2 分が経過。ようやく足立区#12 のスリーポイントが決まりランニングスコアが動き出した、その後は#20 のゴール下での得点#12 のシュートブロックから速攻が出て#5 のランニングシュートなどで得点が決まり 4 分経過して 10-0 とした。江東区も#12、#15 がシュートチャンスを作るもリングに嫌われ得点できず。足立区は#11 のゴール下や#5 の速攻#12 のスリーが決まり第 1 ピリオドが終了 28-6 で足立区がリードしてインターバルに。

第 2 ピリオドは江東区の#12 のランニングシュート#13 の速攻が決まりベンチが盛り上がるも足立区#11 のポストプレーやフリースローを確実に決めて点差は縮まらず足立区#20 の速攻が決まり 37-12 となり江東区タイムアウト。

足立区#13 へのゴール下へパスが繋がりバスケットカウント 3 点プレーとし江東区も #17#6 で点数をつめるも足立区#20 がゴール下を制し前半終了 46-18 と点差を広げた。

第 3 ピリオドから江東区はゾーンディフェンスで始まるも足立区#12#13 のスリーポイントがピリオド開始から決まり流れは変わらない。江東区も#13 のカットイン#15 の連続スリーポイントで点差を詰めるも足立区#9 のディフェンスから#5 へのランニングプレーが連続して決まり点差は縮まらず最後は足立区#17 のスリーポイントが決まり 69-38 で最後のインターバルに入った。

第 4 ピリオドのスタートは江東区の時間帯#10 オフェンスリバンドからシュートを入れてスタートその後も#15 のスリーポイント#12 のフリースローが決まり得点を重ねるも高さに勝る足立区は#13 の連続リバンドシュート#8 のリバウンドシュート#13 のポストプレーとゴール下を制圧。かわってはいる#10 のシュートも決まり終わってみれば 91-53 で足立区が勝利した。

この大会男子 3 勝目で優勝に王手をかけた。